

経済学Basics

大竹文雄著 A5・264頁・定価 2695 円

チケット転売は何が問題なのか？ 賢く資産をふやす秘訣とは？ 本書はこれから経済学を学ぼうとする読者に向けて様々な事例をもとに経済学のベーシックな考え方を解説した「入門の入門書」である。確認問題を豊富に設け、考えながら読みすすめることで自然に経済学的な思考方法やセンスを身につけられるよう構成。2色刷。



経済統計

宇南山卓著 A5・256頁・予価 2400 円

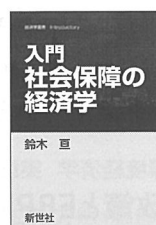
経済学の視点を中心に据え、個々の統計が経済学における概念とどのように関係し、経済構造の理解にどう貢献するのかを説き明かすテキスト。GDP・金融・国際収支等のマクロ統計、家計・企業等の活動を扱うミクロ統計を説明した後、物価、賃金と金利、新たなデータと統計調査、統計間の整合性について取り上げる。2色刷。



入門 社会保障の経済学

鈴木 亘著 A5・280頁・定価 2915 円

いま、社会保障の何が問題なのか。漠然とした将来不安に覆われた年金、医療、介護、少子化、生活保護等についての諸制度を取り上げ、問題の所在を明確化し、経済学の原理原則を踏まえて持続可能性のある実践的解決を提言するテキスト。社会人も含め幅広い読者が十分に読みこなせるよう丁寧に解説。読みやすい2色刷



財政学15講 第2版

麻生良文・小黑一正・鈴木将覚共著 A5・312頁・定価 2915 円

財政にかかわるオーソドックスな経済理論を紹介・解説した定評ある入門テキストの新版。統計データや制度をアップデートしたうえで、依然として厳しい財政状況を踏まえ、政府活動のあり方とその財源、社会保障制度や再分配政策、財政政策の効果や財政赤字の問題点等について解説し議論の前提となる基礎知識を提供する。2色刷。



経済学のためのPython入門

大木清弘著 A5・248頁・定価 2420 円

本書はPythonを使って経済データを分析し、プログラミングを踏まえてより確かな理解を得る力を養成する入門書である。生成AI登場の中、重要性を増すプログラミング的思考を培うためにPythonについて丁寧な解説を行った。経済学に関しても大学1年生程度の知識で十分な内容となっている。



コア・テキスト国際経営 第2版

大木清弘著 A5・288頁・定価 2805 円

国際経営を一貫した視点により解説した好評入門テキストの最新版。新興国の企業が台頭する中で日本企業が海外市場に一層注力する情勢において、国際化に対応した戦略を立てていくための国際経営の知見が益々重要性を増している。第2版ではこうした要請を踏まえ、基盤となる理論解説は維持しつつ記述とデータを更新した。2色刷。



新世社 発売 サイエンス社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-25
TEL 03-5474-8500 (代)
<https://www.saiensu.co.jp> [価格税込]



【お詫びと訂正】
本広告の『経済学のためのPython入門』中に下記の誤植がございました。
誤：大木清弘著 正：春山鉄源著
訂正のうえ、お詫び申し上げます。